

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	公共交通補助事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	05 公共交通機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路運送法、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(国)、兵庫県県土整備部補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	利用者の減少に伴う、路線バスの休止への対策として、既存路線への補助拡大や「かこバス」「かこバスミニ」への転換などを行っている。事業者の乗務員不足が深刻化しており、人件費の高騰や路線の維持・拡充が困難となってきた。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が通勤・通学・通院・買い物など生活する上で必要不可欠な路線バスの維持と、公共交通不便地域の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	全市民、特に市域内において公共交通による移動手段を必要とする人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業者に対し、公共交通(路線バス・かこバス・かこバスミニ)運行による損失の一部を補填する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	187,376 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	62,254 千円
	一般財源	125,122 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	035 総合交通政策事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	149,597 千円	157,938 千円	187,376 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	交通事業者に対して、公共交通運行による損失の一部を補填することで、路線バスの維持と公共交通不便地域の解消を図っている。

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	公共交通補助事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	265,055	263,697	262,308
かこバス沿線住民	人	58,269	58,269	58,269

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
かこバス運行回数	回	51,312	51,210	51,518
利用啓発活動	回	1	0	0
かこバス運行経費補填額	千円	86,661	95,498	104,963
活動指標分析結果	人件費、燃料費の高騰により令和2年度より補助方式の見直しを行うため、運行経費補填額が増加している。また、令和2年度秋頃から「かこバス」の新ルートの実行を開始する予定であることから、運行回数、運行経費補填額が増加する見込みである。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
かこバス利用者数	人	717,449	737,971	725,368	令和7年度	680,000
かこバス利用者一人あたり補助額	円	121	129	145	令和2年度	400
成果指標分析結果	利用者数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルスの影響を受け利用者が激減している。新型コロナウイルスの収束に伴い利用者数も回復していくと考えられる。また、令和2年度秋頃から「かこバス」の新ルートの実行開始予定であることから利用者数は増加すると見込んでいる。補助方式の見直しにより、一人あたりの補助額は増加する見込み。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	自家用有償旅客運送事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	05 公共交通機能を充実する
事業実施期間	平成27年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	道路運送法、加古川市自家用有償旅客運送事業実施要綱

【事業概要】

現状と課題	運行管理、運転者は地域住民で構成する「上荘公共交通協議会」が行っている。出勤や買物、医療では、自家用車の利用が交通の中心となっているが、今後も高齢化が進む傾向がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公共交通不便地域の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	上荘町住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市町村運営有償運送(上荘くるりん号)を運行する。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		1,655 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	250 千円
	一般財源	1,405 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	035 総合交通政策事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	1,260 千円	1,645 千円	1,655 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 安全・安心な運行ができており、交通不便地域の解消に寄与している。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	自家用有償旅客運送事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
上荘町の住民	人	4,670	4,607	4,535

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
上荘くるりん号運行回数	回	968	960	872
活動指標分析結果	平日1日につき約4便を運行している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
上荘くるりん号利用者数	人	2,869	2,753	2,655	令和2年度	2,000
上荘くるりん号利用者一人あたり補助額	円	439	506	529	令和2年度	600
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年3月より運行を一時休止しているため、利用者数が減少傾向となっている。					